

校長室の窓

富谷市立明石台小学校
校長室だより NO.4
令和5年11月17日(金)発行

朝会講話より

10月の始業式に相手の心を大切にする第一歩として、朝の挨拶について話をしました。昇降口前で皆さんの挨拶から、たくさん元気をもらっています。とても嬉しいです。ぜひこれからも続けていきましょう。

今日は「人・物・時間」の中から「物を大切にすること」をお話しします。物は持ち主が大きく3つに分けられます。1つ目は「自分の物」です。お家の方に買っていただいた自分の物は、学校でなくさないように名前を書いて大切にしましょうね。2つ目は「人の物」です。お友達や先生・家族の物がそうです。人の大切な物を勝手に使うのは失礼です。人の物は相手にお願いして、使ってもよいと言われてから使うようにしましょう。3つ目は、「借りている物」です。学校にある机や椅子などは、自分の物ではありません。図書室の本もそうです。難しい言葉で「公共の物」と言います。今皆さんが使っている机や椅子も4月からは次の学年のお友達が使います。自分の物ではなく1年間借りているものです。次に使う人のことを考えたことはありますか。

実は校長先生がいつも明石台小学校の子供は素敵だなあと感心していることがあります。それは昇降口の傘立てです。ほとんどの人が雨の日に差してきた傘をきちんとたたんで入れてくれるおかげで、後から傘を入れる人は気持ちよく傘を入れることができます。次に使う人のことを考えている証拠だなと思います。この他にも世の中には公園の遊具など、自分の物ではないけれど自由に使ってよいものがたくさんあります。これからも次に使う人のことも考えて丁寧に使っていきましょう。



上の写真は、雨が降った11月7日の傘立ての様子です。明石台小学校の子供は、ご家庭のご協力もあり物を丁寧に扱う子供が大多数です。しかし、中には物の管理が苦手な子供もいます。人の物を勝手にさわってしまい、それが友達同士のトラブルにつながることもあります。物にあふれた豊かな時代だからこそ、物を大切にすることについてもう一度考えてほしいと思い、今回子供たちに向けて話しました。

また、「相手意識」を育てていくことは、学校生活で学ぶことのできる大切な要素の一つではないかと考えます。自分の考えとは違う考えに触れることや、自分が周りの人に支えられて生きていることを知ることが、ともすれば自分本位になりがちな子供の行動にブレーキを掛ける一助になってほしいと思います。



10・11月の様子から

日々の出来事については明石台小学校のホームページ「学校ブログ」にも掲載しています。



5年生は校外学習で旧荒浜小学校を見学しました。津波の恐ろしさや備えの大切さについて学習してきました。



1年生は水書用筆やタブレットを使って書写の学習をしています。友達の文字を見て、文字の良さをたくさん見つけました。



3年生は校外学習で警察署と消防署を見学しました。出動する場面にも遭遇し、思い出に残る見学となりました。



6年生は栄養士さんと家庭科の勉強をしました。栄養のバランスを考えながら自分で献立を考えました。



11月は4年生の読み聞かせがありました。学年の発達段階に応じた選書をしていただくので、ほとんどの子供が興味をもって聞いていました。



2年生は「まち探検」に出掛けました。地域のお店に行ってインタビューをしました。保護者ボランティアにも協力をいただきました。